

十年前に交わした
「再会」の約束
旧金丸小学校で閉校十周年記念式典

十月八日、旧金丸小学校を会場に、閉校十周年記念式典が行われました。「金丸小学校を愛する会（今俊明会長・金丸）」が主催で、当時の先生や児童、地域の住民など約四十人が参加。

旧金丸小学校が閉校を迎えたのは、今から十年前の二〇〇一年三月二十五日。当時、「十年後、またここで会おう」と約束した「再会」。東日本大震災等の影響で延期になったものの、この日、約束どおり再会を果たすことができました。



▶思い出の詰まった旧校舎を背に
参加者全員で記念撮影

閉校時、校長を務めていた市橋恒一さんは「金丸小学校は地元の皆さんに深く愛されていたので、当時はとても残念でした。この場所、こうして皆さんと会うことが出来て本当に嬉しく思います」と挨拶。

式典では十年前に埋めたタイムカプセルを掘り起こし、当時のノートや写真、手書きメッセージ付きの横断幕など思い出の品々を手にしながら参加者は昔



地域で取り組む「配偶者対策」

～ 下関集落で準備委員会を開催～

10月22日、下関集落で地域の配偶者対策に取り組もうと、配偶者対策準備委員会が関川村就業改善センターを会場に行われました。

どこの地域でも存在する配偶者対策の問題を、準備委員会では人とのつながりを通してこの問題に取り組み、集落の活性化につなげようと活動しています。

準備委員会は30代から60代まで幅広い年齢層の委員10人で構成されていて、今回で2回目の開催。他市町村や他団体での取り組みのほか、今後の進め方について話し合いが行われました。

委員を務める鈴木紀夫さんは「配偶者対策に取り組むことで、一世帯でも幸せな家庭が増えればいい。集落の活性化は村全体の活性化につながると思うし、他集落への刺激になれば嬉しい」と話していました。

今後も具体的な活動や取り組みに向けて定期的開催される予定ですので、地域の方々の参加をお願いします。

話に花を咲かせていました。

この日のために東京都から帰省した阿部由香莉さん（金丸出身）は「閉校時は六年生でした。タイムカプセルに入っていた物を見て、当時は懐かしく思います。運動会や文化祭など地域の人たちが参加して協力してくれたので、すごく思い出に残っています。ここは、これからも地域の人たちが集まれる場所であってくれたら嬉しい」と話していました。



近所でも評判！
鴨に見えるサツマイモ

10月上旬、下関集落の佐藤ミチさんは今までにないくらい大きなサツマイモを収穫しました。よく見ると「鴨」に見えるこのサツマイモ。これは珍しいと近所でも評判になっていて、佐藤さんの4歳と1歳のひ孫も、「かわいい。かわいい」と撫でているそうです。

学校からのお知らせ

今月は関川中学校からの紹介

携帯、パソコン、便利だけど・・・ 増えるインターネットトラブル

県内で中学生が巻き込まれた事件

サイトに、女子中学生の顔写真と下着姿を合成した写真や、その中学生の携帯電話番号が載せられ見知らぬ男から電話がかかってくる。中学生がブログを作っていたところ、「死ね」などの書き込みが頻繁にあり、不登校になった。携帯電話サイト掲示板に、わいせつな内容とともに中学生の自宅の電話番号を書き込まれ、電話がかかって困っている。

中学生の携帯電話に「さっさと死んだら」などのメールが送られてきてショックを受けている。インターネットの掲示板に、トラブルになっている友だちの名前をあげ、「ぼこぼこにしてやる」などと、書き込みをする。

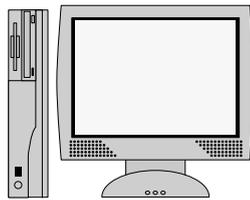
(新潟県警HPより)

これらはすべて犯罪で、処罰の対象となります。

小・中学生の携帯電話所持率やネット利用率、ここ数年で大変増加しました。

学校では授業の中で、情報モラルやインターネットの正しい利用の仕方を学習しますが、それでもネットに関連する犯罪に巻き込まれる小・中学生は増える一方です。関川村の子どもたちにとっても、身近な問題なのです。

ネット犯罪から子どもを守るのは大人です。関川中学校PTAでは、保護者・地域のみなさまと教職員向けの講演会を計画しています。



関川中学校PTA講演会

日時：11月25日(金) 午後3:00から午後3:50

場所：関川中学校多目的教室

内容：子どもに迫るネット危機の実態や特徴、親子等の対話により、インターネット利用時の家庭内ルールの作成についてお話しいただきます。

講師：『総務省e-ネットキャラバン』から講師をお招きする予定です。

実施計画の詳細は、後日集落回覧等でお知らせします。大勢のご参加をお待ちしています。



自身の体験から伝えたい「差別」問題

～人権・同和教育講演会～

9月29日、徳島県の大湾昇さんを講師に招いて「出会いと表現」と題した人権・同和教育講演会が村民会館大ホールで開かれ、一般市民や小・中学校の教職員など約100人が集まりました。

14歳の頃、母親から自分の「立場」を教えられたという大湾さん。当時は「被差別部落出身者」であることを隠して生きていこうと心に決めていたものの、18歳の頃「被差別部落出身者」であることを理由に失恋したことがきっかけで、今までの考えを変え、真正面から「差別問題」と向き合うようになりました。講演では、自身が体験した差別や周りで起きた結婚差別問題を取り上げ、私たちに人権教育、同和教育の大切さを教えてくれました。

「世の中には知らないことでもたらされている差別がある。だからこそ人権教育が大切なんです」という大湾さんの言葉が印象的でした。



委員の交代

教育委員会委員に

河内 宗さん(沢)

本間正良さん(安角)の任期満了に伴い、10月7日付けで河内宗さんが教育委員会委員に任命されました。

任期は平成27年10月6日までの4年です。

また、このたび退任された本間正良さんには、村教育のためにご尽力いただきありがとうございました。